

平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	11 - 100	マスタープラン 3つの挑戦	マスタープラン 施策番号	1 - 1	局・課名	健康福祉局・健康医療推進課
区分	その他一般施策					(単位 千円)

事業名	認知症対策等支援事業			平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
関連事業	認知症疾患医療センター運営事業(政令市) 認知症施策総合推進事業			事業費	566	1,381
				事業期間	H18~ H	全体事業費
事業目的	今年度要求のポイント					
	<p>高齢者が日ごろから受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）が、各地域で認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制を構築する事を目的とする</p> <p>今後の高齢化を踏まえ、「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」（平成25年度から29年度までの計画）が明示され、今後の具体的な各事業の方向性が示されてきたため、平成26年度以降、継続事業のみならず新規事業にも取り組んでいく必要がある。</p>					
事業内容	主要求内容 (単位：千円)					
	<p>○認知症サポート医の養成 ※認知症サポート医とは、認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師。 養成目標：30名（713診療所のうち25診療所に1名、疾患センターに各1名） ○認知症サポート医フォローアップ研修 新）認知症医療連携会議の開催（認知症疾患医療連携協議会・クリニカルパス作成等） ○普及啓発推進事業 認知症サポート医が中心となり、かかりつけ医、地域住民、認知症の人の家族や介護サービス関係者に対し、認知症の医療の連携に必要な知識の普及等を推進する。 拡）認知症対応力向上研修 医師等医療従事者として必要な知識・技術などの習得を目的とした研修会の開催</p>		項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
			研修会参加負担金	250	250	認知症サポート医養成@50000×5人
			出務医師報酬	198	440	医師医療従事者向け等@22000×20人
			報償費	256	514	協議会等委員・認知症看護認定看護師謝礼金他
			役務費	5	96	資料アンケート送付料
			旅費	188	196	認知症サポート医養成等
			需用費	433	390	教材印刷費・消耗品費等
			使用料・賃借料	51	51	研修会会場
			委託料	0	350	かかりつけ医スキルアップ研修等
			その他			
	合計	1,381	2,287			
スケジュール（経過及び今後展開）	その他 特記事項					
【経過（～25年度）】	【26年度】	【今後（27年度～）】	今後の高齢化を踏まえ、全体の底上げや対応できる人材育成などが必要である。市民に対する啓発も重要となる。			
認知症サポート医養成・かかりつけ医認知症対応力向上研修開催・認知症サポート医会議・医療従事者向け研修の開催。	認知症サポート医養成・かかりつけ医認知症対応力向上研修開催・各種認知症に関する会議、医療従事者向け研修の開催等	認知症サポート医養成・かかりつけ医認知症対応力向上研修開催・各種認知症に関する会議、医療従事者向け研修の開催等				